# 取扱説明書

リモート コントローラー

**RMC－1000**

○リモート コントローラー RMC-1000 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
○ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
○お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 安全上のご注意

ご使用の前にかならず「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

**■絵表示について**

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく確認してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| **警告** | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| **注意** | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

**■絵表示の例**

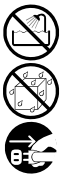
| | |
|---|---|
|  | △記号は注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。<br>図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。 |
|  | ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
|  | ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はLANケーブルを抜け)が描かれています。 |

## ⚠警告

●本機のケース・裏パネル等をはずさない！
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。
・改造などは絶対におこなわないでください。
・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



●本機を濡らさない！
火災・感電の原因となります。
・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。
・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。
・万一水などが中に入ったときには、すぐにLANケーブルを抜いて販売店にご相談ください。



●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！
万一異物が入ったときには、すぐに LAN ケーブルを抜いて販売店にご相談ください。
そのままで使用すると火災・感電の原因となります。



●ぬれた手でLANケーブルを抜き差ししない！
感電の原因となることがあります。



●雷が鳴り出したら使わない！
LAN ケーブルや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐにLANケーブルを抜く！
そのままで使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



●本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、LANケーブルを抜く！
そのままで使用すると火災・感電の原因となります。
販売店に修理をご依頼ください。



●移動させる場合は、かならずLANケーブルを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！
ケーブルが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



●長期間使用しないときは、LANケーブルを抜いて電源を切る！
火災の原因となることがあります。



## 安全上のご注意

### ⚠ 注意

●本機の上にものを置かない！
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。



●ケーブル類は正しく配線する！
・ケーブルを熱器具に近づけないでください。
・ケーブルを本機の下敷きにしないでください。
足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



●設置場所にご注意ください！
・不安定な場所に置かないでください。
・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。
・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。
・振動や衝撃の加わるところには置かないでください。
・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。



■定期点検とお手入れについて
※お手入れの際は安全のため、LAN ケーブルを抜いて電源を切ってからおこなってください。

### ⚠ 注意

●内部の掃除について
内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。

●カバーは乾いた布で拭いてください
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。このとき、液が内部に入らないように注意してください。
ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

## 特 長

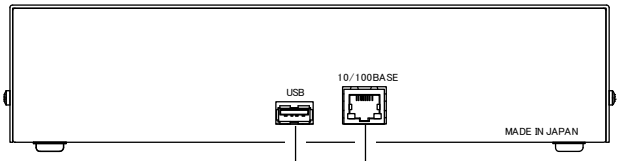
●本機は、アルテックス製 IP カメラビューワ, TOA 製 TRIFORA レコーダー/リモートビューアーに対応したリモート コントローラーです。
●アルテックス製ネットワーク ビデオ デコーダーを経由してカメラの PTZ 制御ができます。
●イーサネット経由で 32 台までの制御対象機器を操作できます。

## 目 次


各部の名称とはたらき 3
■背面図 3
■上面図 3
システム例 4
電源 ON/OFF 4
TRIFORA レコーダーの設定 5
通信の設定 6
操作方法 7
■各種 No.の入力方法 7
■制御対象機器 No.の選択 7
■1 画面/多画面の切換え 7
■多画面の切換え(IP カメラビューワのみ) 7
■シーケンス動作 7
■パターンの切換え(TORIFORA レコーダーのみ) 7
■ページ切換え/フルスクリーン切換え 8
■ビュー(カメラ)選択 8
■プリセット No.の選択 8
■フォーカス制御 8
■アイリス制御(TORIFORA レコーダー,ビデオ デコーダーのみ) 9
■ジョイスティック操作 9
■その他のカメラ操作(TORIFORA レコーダーのみ) 9
■アラーム関連操作(TORIFORA レコーダーのみ) 9
■メニューの操作(IP カメラビューワ,ビデオ デコーダーのみ) 9
■設定キーの特殊操作 9
ファームウェアのアップデート方法 10
ジョイスティックの調整 10
ジョイスティックのキャリブレーション 10
製品仕様 11
故障かなと思う前に… 11
品質保証規定 11
おことわり 11

## 各部の名称とはたらき

■背面図




**USBコネクター**
ファームウェアをアップデート
するときに使用します

**制御信号入出力Ethernetコネクター**
制御信号を入出力します
電源供給のため、かならずPoE対応ハブと
接続してください(RJ-45 10/100BASE)

■上面図

**1画面/多画面キー**
1画面/多画面を切換えます

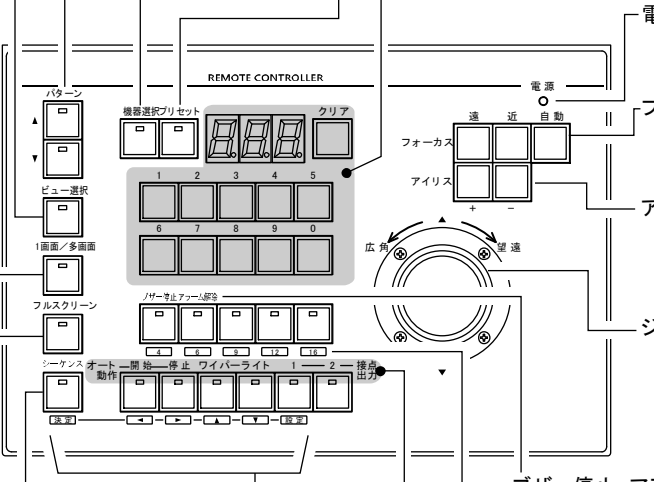
**機器選択キー**
制御対象の機器No.1～32に接続します

**ビュー選択キー**
多画面時、カメラを青枠で
選択します

**プリセットキー**
選択中のカメラに登録された
プリセットNo.1～256を選択します

**パターンキー**
TRIFORAレコーダー
に登録されている
パターンを選択します

**7セグメントLED, クリアキー, テンキー**
テンキーで7セグメントLEDに数値を入力します
クリアキーで入力を取り消します




**電源LED**
電源供給時に点灯します

**フォーカスキー**
選択中のカメラの
フォーカスを制御します

**アイリスキー**
TRIFORAレコーダー,
ビデオ デコーダーにて
選択中のカメラ映像の
明るさを制御します

**ジョイスティック**
選択中のカメラの
パン,チルト,ズームの
各動作をします
多画面時はカメラ選択
の青枠を移動します

**ブザー停止, アラーム解除キー**
TRIFORAレコーダーのアラームに
関連した操作をします

**シーケンスキー**
カメラの自動切換え
動作をします
自動切換え動作中は
LED(緑)が点灯します

**カメラ操作キー**
TRIFORAレコーダー
にて選択中のカメラの
各操作をします

**多画面分割キー**
IPカメラビューワの多画面を切換えます
多画面表示中は該当する分割キーの
LEDが点灯します

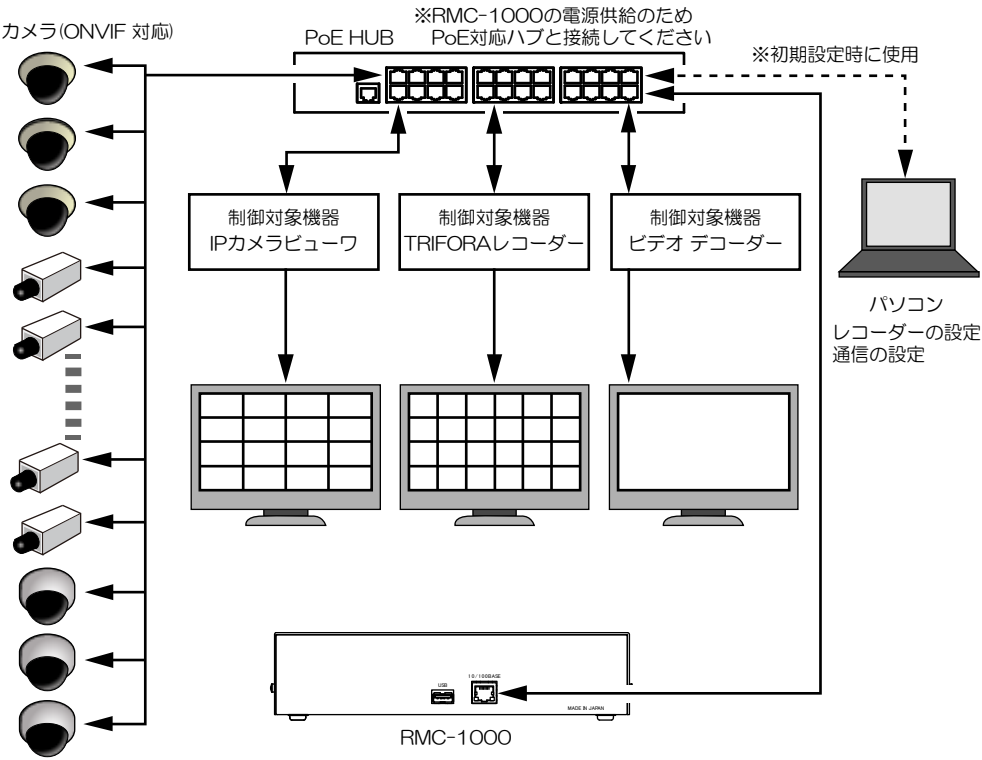
**フルスクリーンキー**
TRIFORAレコーダーの
フルスクリーンを
切換えます

**決定キー, ◄ ► ▲▼移動キー, 設定キー**
IPカメラビューワ,ビデオ デコーダーのメニュー設定時に使用します
メニュー表示中はLED(緑)がそれぞれ点灯します

**注意** ●ネットワーク ビデオ デコーダー制御時は、各キーの LED(緑)は点灯しません。
●制御対象機器によって使用しないキーがあります。7～9 ページ 操作方法 の各項目をご参照ください。

## システム例

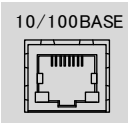
**注意** ●LAN ケーブルはコネクターに確実に装着してください。装着が不安定な場合は故障の原因となります。
●LAN ケーブルの不良品(ツメ折れ等)を装着しますと故障の原因となります。
●RMC-1000 は制御対象機器用のリモコンです。RMC-1000 がカメラを直接操作することはありません。
●TRIFORA レコーダー/リモートビューアーを本書では“TRIFORA レコーダー”と表記します。
●ネットワーク ビデオ デコーダーを本書では“ビデオ デコーダー”と表記します。




## 電源 ON/OFF

●電源は機器背面の制御信号入出力 Ethernet コネクター(RJ-45)より LAN の信号に重畳して供給されます。
LAN ケーブルを接続すると電源 ON となり、LAN ケーブルを抜くと電源 OFF となります。

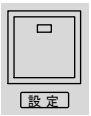
**注意** ●電源供給のため、かならず PoE 対応ハブと接続してください。
●LAN ケーブルはコネクターに確実に装着してください。
装着が不安定な場合は故障の原因となります。
●LAN ケーブルの不良品(ツメ折れ等)を装着しますと故障の原因となります。




●電源が ON になると機器上面の電源 LED(緑)が点灯します。




●設定キーを押しながら電源を ON にすると 7 セグメント LED に“F.S.”と表示されて
各設定値が工場出荷時(下表)に戻ります。

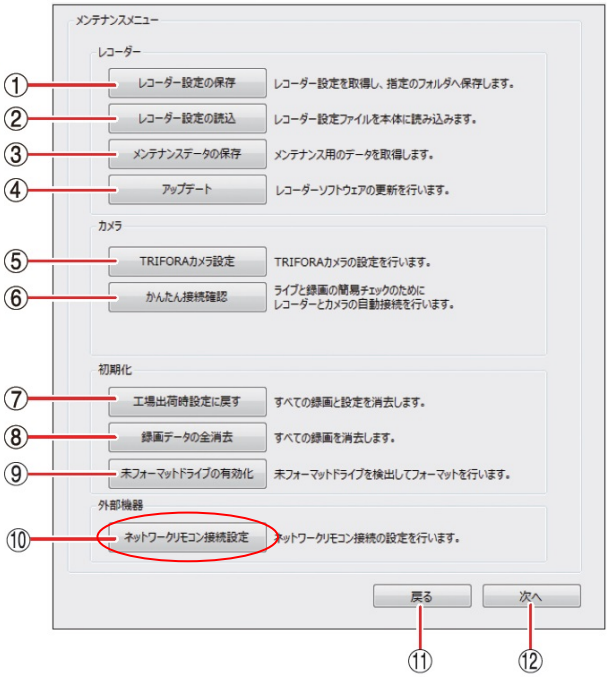



| | | |
|---|---|---|
| ※工場出荷時設定 | IP アドレス | 192.168.1.168 |
| | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | デフォルトゲートウェイ | 192.168.1.2 |
| | 送信先 IP アドレス(機器 No.1～32) | 192.168.1.103 |

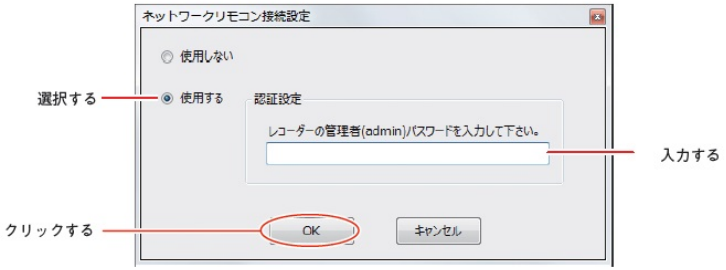
## TRIFORA レコーダーの設定

制御対象機器をあらかじめ設定します。
※制御対象機器が IP カメラビューワ,ビデオ デコーダーの場合には設定はありません。

1. メンテナンス メニューを表示します
“ネットワークリモコン接続設定”⑩をクリックします。




2. ネットワークリモコン接続設定が表示されます
“使用する”を選択し、管理者のパスワードを入力して“OK”をクリックします。
出荷時 ID　　：admin
出荷時パスワード：guest




※1 台のレコーダーに対して、最大 2 台のリモコンを同時に接続できます。

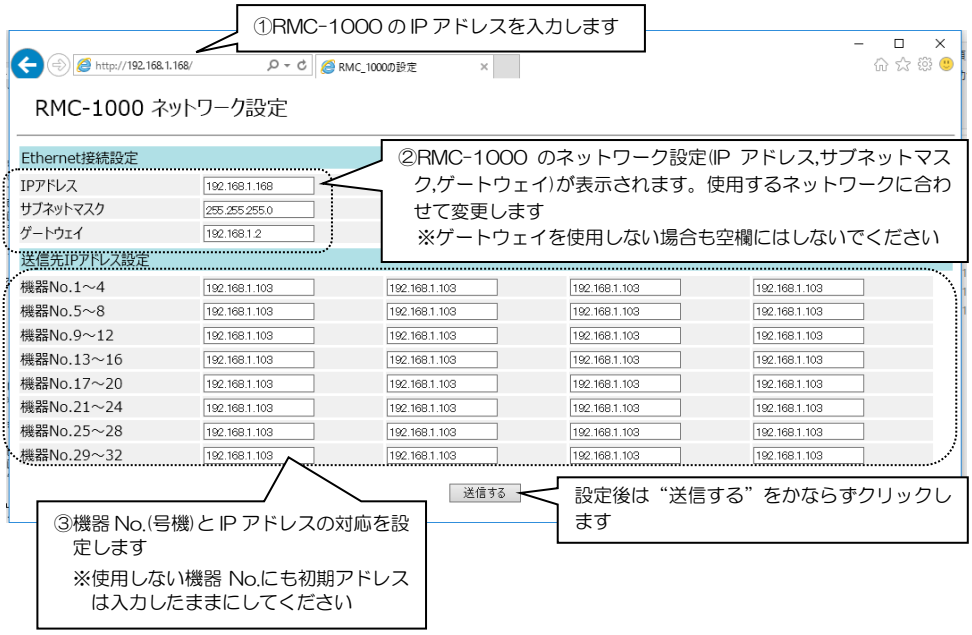
## 通信の設定

ネットワーク内にあるパソコンでブラウザを使用し、RMC-1000 の通信の設定をおこないます。
※通信を設定するときは、かならず RMC-1000 をネットワークに接続し、電源を ON にしてください。また、パソコンは RMC-1000 と通信可能な IP アドレスにあらかじめ設定してください。

①ブラウザの URL に RMC-1000 の IP アドレス（初回接続時には初期値 192.168.1.168）を入力します。

②下図の設定画面が表示され、“Ethernet 接続設定”の“IP アドレス”に RMC-1000 の IP アドレスが表示されています。使用するネットワークに合わせて変更して“送信する”をクリックします。IP アドレスを変更した場合は、変更後の IP アドレス設定でパソコンからアクセスし直します。（パソコンの IP アドレスにもご注意ください）

③“送信先 IP アドレス設定”の各機器 No.（号機）に制御対象機器（IP カメラビューワ,ビデオ デコーダー,TRIFORA レコーダー）の IP アドレスを入力します。合計 32 台まで設定できます。すべて入力後に“送信する”をクリックしてください。




④設定が成功すると“設定完了”のメッセージが表示されます。
不適切な値が入力されていたり空欄があると“設定エラー”のメッセージが表示されますので、ブラウザの戻るボタンで戻り、③の設定をやり直してください。

**注意** ●カメラの PTZ 制御は、制御対象機器（IP カメラビューワ,ビデオ デコーダー,TRIFORA レコーダー）を経由しておこないますので、本機にはカメラとの通信設定はありません。
●ゲートウェイを使用しない場合も空欄にはしないでください。空欄があるとエラーになります。
●使用しない機器 No.にも初期アドレスは入力したままにしてください。空欄があるとエラーになります。

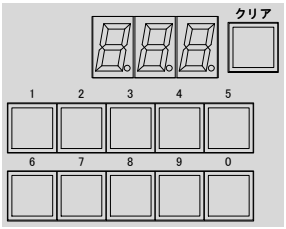
## 操作方法

### ■各種 No.の入力方法

7 セグメント LED に入力される No.は次の設定に使用します。

| 種類 | 数値の範囲 |
|---|---|
| 制御対象機器 No.(号機)<br>IP カメラビューワ<br>TRIFORA レコーダー<br>ビデオ デコーダー | 1～32 |
| ビュー(カメラ)No.<br>IP カメラビューワ<br>TRIFORA レコーダー | 1～制御対象機器が表示中の分割画面数 |
| ページ No.<br>IP カメラビューワ<br>(ページ対応機種のみ) | 1～16 |
| カメラのプリセット No. | 1～256 |

**注意**
- ビュー(カメラ)No.は、制御対象機器が表示中の分割画面表示位置 No.です。(次ページ **■ビュー(カメラ)選択** 参照)
- ページ No.は、IP カメラビューワのページ対応機種のみに対応しています。
- ビデオ デコーダーは映像出力 1 に選択されたカメラを制御するのみですのでカメラ No.は入力しません。




テンキーで 7 セグメント LED に No.を入力します。
テンキーを押すと右端の 1 ケタ目に数値が入力され、先に入力された数値は順次左に送られます。
クリアキーですべての入力を取り消します。

### ■制御対象機器 No.の選択

#### ●接続する

制御対象機器 No.(号機)を指定して接続します。
テンキーで機器 No.(1～32)を入力して、機器選択キーを押します。
制御対象機器との接続待ち中は 7 セグメント LED が点滅し、接続完了すると点灯に変わり、約 3 秒後に消灯します。

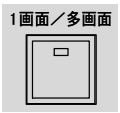



#### ●確認する

機器選択キーを押すと、接続中の制御対象機器の機器 No.(号機)を確認できます。
7 セグメント LED に機器 No.(1～32)が点灯し、約 3 秒後に消灯します。

### ■1 画面/多画面の切換え

画面を 1 画面/多画面に切換えます。




#### ●多画面時に押したとき

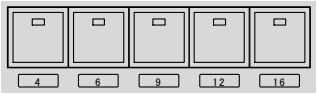
| 機器 | 動作 |
|---|---|
| IP カメラビューワ | ・ビュー(カメラ)No.1 画面に切換え<br>・テンキーでビュー(カメラ)No.を入力してから押すと、その映像の 1 画面に切換え |
| TRIFORA レコーダー | ・選択状態のカメラの 1 画面に切換え<br>・テンキーでビュー(カメラ)No.を入力してから押すと、その映像の 1 画面に切換え |

**注意**
- テンキー入力で切換えられるのは多画面表示されているカメラだけです。ビュー(カメラ)No.が正しくない場合は動作しません。(例：4 分割時に 5 以上を入力したときなど)

#### ●1 画面時に押したとき

| 機器 | 動作 |
|---|---|
| IP カメラビューワ | 最後に表示していた多画面に切換え<br>電源 ON 時から多画面を表示していない場合は、最大分割数に切換え |
| TRIFORA レコーダー | 1 画面選択を解除 |

### ■多画面の切換え(IP カメラビューワのみ)




多画面の A に切換えます。
同じキーを押すと、同分割 A→B→C→D→A→B→･･･と切換えます。

### ■シーケンス動作

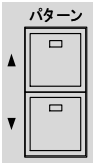



カメラ映像の自動切換え(オートシーケンス)動作をします。

| 機器 | 動作 |
|---|---|
| IP カメラビューワ | カメラ映像の自動切換え(オートシーケンス)動作 |
| TRIFORA レコーダー | シーケンスパターンを表示中に限り、シーケンス動作の停止/再開 |

### ■パターンの切換え

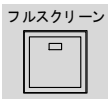
(TRIFORA レコーダーのみ)
あらかじめ登録されている画面パターンを、▼キーで正順、▲で逆順に切換えます。



## 操作方法

■ページ切換え/フルスクリーン切換え

フルスクリーン キーは制御対象機器によってページ切換え、またはフルスクリーン表示の動作をします。




| 機器 | 動作 |
|---|---|
| IP カメラビューワ(ページ対応機種のみ) | テンキーでページ No.(1～16)を入力してから押すと、そのページに切換えます。 |
| TRIFORA レコーダー | フルスクリーン表示する/しないを切換えます。 |

■ビュー(カメラ)選択

●ビュー(カメラ)No.を設定して選択する

多画面(分割画面)表示中にテンキーでビューNo.を入力して、ビュー選択キーを押すと、そのビュー(カメラ)へ青枠が移動して選択状態になります。

“ビュー(カメラ)No.”は下図を参考にしてください。




分割数が多いときや変則的な分割では、No.を考える必要のないジョイスティックでのビュー選択をお奨めします。

≪ IPカメラビューワのカメラ(ビュー)No. ≫

4分割

| | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |

6分割

| | | |
|---|---|---|
| 1 | | 2 |
| | | 3 |
| 4 | 5 | 6 |

9分割

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |

12分割

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 |

16分割

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 |

≪ TRIFORAレコーダーのカメラ(ビュー)No. ≫

3分割

| | | |
|---|---|---|
| 1 | | 2 |
| | | 3 |

4分割

| | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |

6分割

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |

8分割

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | | | 2 |
| | | | 3 |
| | | | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

9分割

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |

15分割

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | 2 | | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |

16分割

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 |

24分割

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |

64分割

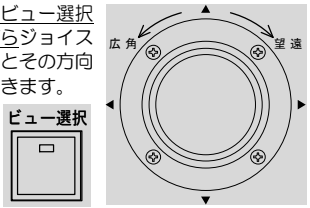
| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 |
| 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 |
| 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 |
| 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 |

**注意**

- ビュー(カメラ)No.が正しくない場合は動作しません。(例：4 分割時に 5 以上を入力したときなど)
- ビデオ デコーダーは映像出力 1 に選択されたカメラだけが選択されています。

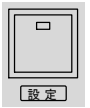
●ジョイスティックで選択する

多画面表示中にビュー選択キーを押しながらジョイスティックを倒すとその方向へ青枠を移動できます。




●選択を解除する(青枠を非表示)

設定キーを 2 回押します。
(IP カメラビューワのみ)




**項目共通の説明**

次項からの■プリセット No.の選択,■フォーカス制御,■アイリス制御,■ジョイスティック操作,■その他のカメラ制御の操作は、次のビュー選択状態のカメラに対して有効になります。

- 1 画面表示中のカメラ
- 多画面時、青枠表示中のカメラ
- 多画面時、青枠表示なしのときは最後に操作したカメラ(IP カメラビューワのみ)
- ビデオ デコーダーの映像出力 1 のカメラ

■プリセット No.の選択

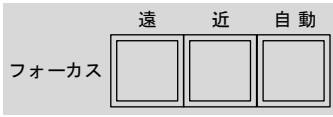
ビュー選択中のカメラをプリセット位置に移動したいときは、テンキーでプリセット No.(1～256)を入力して、プリセットキーを押します。
選択中のカメラがプリセット位置に移動します。




あらかじめ各カメラの設定でプリセット No.とカメラ位置を登録しておいてください。

■フォーカス制御

ビュー選択中のカメラのフォーカスを制御します。



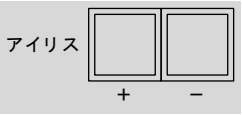

遠キーでピントを遠くに合わせ、近キーでピントを近くに合わせます。キーを押し続けている間変化し、キーを離すと停止します。

自動キーを押すとオートフォーカスをおこないます。

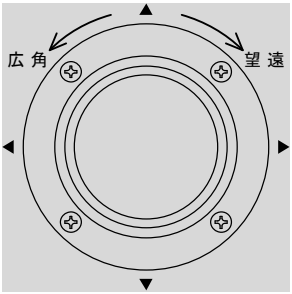
## 操作方法

■アイリス制御
（TRIFORA レコーダー,ビデオ デコーダーのみ）
ビュー選択中のカメラ映像の明るさを制御します。

＋キーで映像が明るくなり、－キーで暗くなります。




■ジョイスティック操作
ビュー選択中のカメラのパン,チルト,ズームの操作をします。

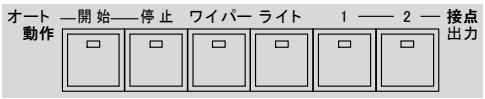



◀,▶方向に倒すとパンの動作をします。
▲,▼方向に倒すとチルトの動作をします。
広角,望遠の方向に回転させるとズームの動作をします。

多画面表示中はビュー選択キーを押しながら上下左右方向に倒すと、青枠を移動します。（前ページ ■ビュー選択 参照）

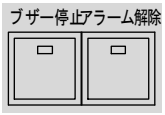



■その他のカメラ操作(TRIFORA レコーダーのみ)
ビュー選択中のカメラに対して以下の操作ができます。
- PTZ カメラのオート動作の開始/停止
- ワイパーの ON/OFF(ミカミ製カメラ用)
- オプションライトの ON/OFF(ミカミ製カメラ用)
- カメラ接点出力 1,2 の ON/OFF




■アラーム関連操作(TRIFORA レコーダーのみ)

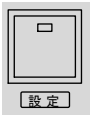
●ブザー停止
ブザー停止キーを押すと、レコーダーのブザー名鳴動が停止します。



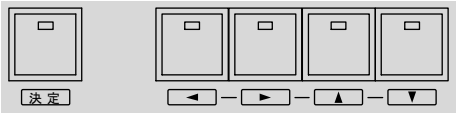

●アラーム解除
アラーム解除キーを押すと、レコーダーのアラーム動作が終了します。

■メニューの操作
（IP カメラビューワ,ビデオ デコーダーのみ）

●メニュー表示/終了
設定キーを押すと、メニューが表示されます。
メニューを表示中に押すと前のメニューに戻り、メインメニューで押すと設定を保存してメニューを終了します。




●項目の選択,決定

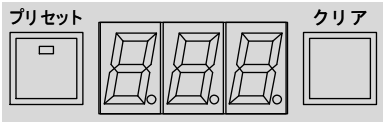



メニュー表示中、◀,▶,▲,▼キーで選択項目の移動および設定値を変更します。
決定キーで選択項目や設定値を決定します。

■設定キーの特殊操作
設定キーを押しながら電源をONにすると7セグメント LED に “F.S.” と表示されて、各設定値が工場出荷時に戻ります。

## ファームウェアのアップデート方法

最新ファームウェアのバージョン確認,入手についてはアルテックスまでお問い合わせください。
http://www.n-artics.co.jp/contact/




①プリセットキーとクリアキーを同時に押しながら電源を ON にします。

②7 セグメント LED に“U.P.”と表示されます。

③アップデート ファイルが入っている USB メモリを背面の USB コネクターに挿入します。




④約 10 秒後に 7 セグメント LED に“GO”と表示されてアップデートが正常に終了し、RMC-1000 は自動的に再起動します。

**注意**

●アップデート ファイルのファイル名は“RMC-1000_UPDATE.bin”とし、USB メモリのルートディレクトリに保存してください。

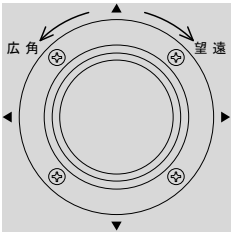
●アップデートに失敗した場合は 7 セグメント LED に“E1”と表示されます。ファイル名,保存場所等を確認し、手順①からやり直してください。

●USB メモリのファイルシステムは FAT32 をご用意ください。

## ジョイスティックの調整

ジョイスティックは、工場出荷時に適正に調整されています。

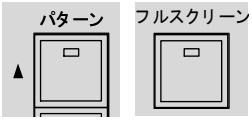
ご使用中に調整のズレ等を感じられるときにはキャリブレーションをおこなってください。




## ジョイスティックのキャリブレーション

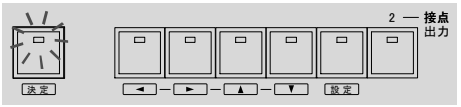
■キャリブレーション手順

①パターン▲キーとフルスクリーンキーを同時に押しながら電源を ON にします。




②7 セグメント LED に“C.S.”と表示されます。

③決定キーの LED が点滅します。




④ニュートラルの位置を設定します。ジョイスティックに触れずに決定キーを押します。
決定キーの LED が点灯し、◀キーの LED が点滅します。

⑤パンの左方向の最大値を設定します。ジョイスティックを左端まで倒した状態で◀キーを押します。
◀キーの LED が点灯し、▶キーの LED が点滅します。

⑥パンの右方向の最大値を設定します。ジョイスティックを右端まで倒した状態で▶キーを押します。
▶キーの LED が点灯し、▲キーの LED が点滅します。

⑦チルトの上方向の最大値を設定します。ジョイスティックを上端まで倒した状態で▲キーを押します。
▲キーの LED が点灯し、▼キーの LED が点滅します。

⑧チルトの下方向の最大値を設定します。ジョイスティックを下端まで倒した状態で▼キーを押します。
▼キーの LED が点灯し、設定キーの LED が点滅します。

⑨ズームの広角の最大値を設定します。ジョイスティックを左端までひねった状態で設定キーを押します。
設定キーの LED が点灯し、接点出力 2 キーの LED が点滅します。

⑩ズームの望遠の最大値を設定します。ジョイスティックを右端までひねった状態で接点出力 2 キーを押します。
接点出力 2 キーの LED が点灯します。

以上でキャリブレーションが終了し、RMC-1000 は自動的に再起動します。

## 製品仕様

●制御対象機器　TOA 製 TRIFORA レコーダー/リモートビューアー
アルテックス製 IP カメラビューワ,ネットワーク ビデオ デコーダー
合計 32 台まで

●インターフェイス　RJ-45　1 系統 PoE(IEEE802.3af 準拠)対応　(Ethernet　10/100BASE)
USB　1 系統

●キー機能　機器選択,画面表示切換え,ビュー選択,プリセット選択,フォーカス/アイリス制御,他

●ジョイスティック機能　パン,チルト,ズーム,ビュー選択

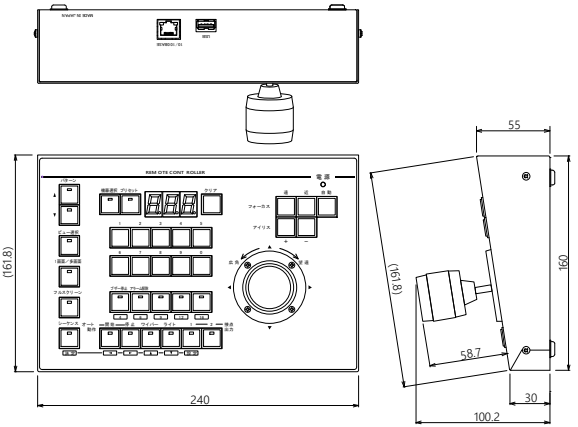
●デジタル表示　7 セグメント LED3 桁　機器番号,カメラ番号,プリセット番号

●電源電圧　PoE (DC36V-57V) 約 1.6W

●外形寸法　240(W)×160(D)×55(H)　ジョイスティック含む高さ 101(H)(他の突起部は除く)

●質量　約 1.3kg

●外観図




※仕様および外観は、改良その他の理由により、予告なく変更する場合がございます。

※本機は日本国内のみの使用に基づいて設計・製造されています。

## 故障かなと思う前に…

| 症　状 | 確　認　事　項 |
|---|---|
| 電源が入らない | ●PoE(IEEE802.3af 準拠)対応のハブに接続されていますか？ |
| 通信できない | ●本体および制御対象機器の IP アドレス等、ネットワーク環境をご確認ください。<br>●制御対象機器の機器 No.(号機)と正しく接続されているかご確認ください。 |
| PTZ 動作しない<br>PTZ 動作にずれがある | ●操作するカメラが制御対象機器にてビュー選択されているかご確認ください<br>●ジョイスティックのキャリブレーションをおこなってください。 |

**修理を依頼されるときは**

●本機が正常に動作しないときは「システム例」をもう一度ご覧いただき、環境および動作をご確認ください。
それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●修理をお申し付けいただくときは、品名と症状を詳細にお知らせください。
品名:リモート コントローラー　RMC-1000

## 品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より
1 年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。
①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
⑥付属品などの消耗品による交換。

## おことわり

本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故、および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

# 保　証　書

| | |
|---|---|
| 品名：**RMC-1000** | 本体裏シールの SER.No.（製造番号）をご記入ください<br>Ｎｏ． |
| お客様名：<br>様<br>ご住所　〒<br><br>TEL: | 取扱販売店名・住所・電話番号 |
| 保証期間 | お買い上げ日<br>年　月　日より　1年間 |


Artics
株式会社 アルテックス
住　所 神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1
営業部ダイヤルイン 042(742)2110
F　A　X 042(742)3631
E - M A I L info@n-artics.co.jp
U　R　L https://www.n-artics.co.jp


202409-V3